

第4回NRC全国キャラクター調査

【Part1:ご当地キャラクター編】

2017年10月調査結果



日本リサーチセンター

Member of Gallup International Association

東京都中央区日本橋本町2-7-1

TEL:03-6667-3400(代) FAX:03-6667-3470

<http://www.nrc.co.jp/>

日本では、マンガやアニメなどに登場するキャラクター人気が高く、キャラクターを商品化したビジネスも盛況である。キャラクター市場の実態として、どのようなキャラクターが認知され、好感をもたれているだろうか。

「ご当地キャラクター・企業キャラクター」、「マンガ・アニメ・ゲームキャラクター」、「日本・海外の有名キャラクター」の3つのジャンルごとに、合計90種類のキャラクターについて認知度と好感度を調査したが、本レポートでは「ご当地キャラクター」18種類の結果を紹介する。

なお、本調査は、時系列で実施している「NRC全国キャラクター調査」の第4回にあたり、日本全国の15～79歳男女を対象に、訪問留置法という手法で、2017年10月4日～16日に実施した。

(エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割りつけており、全体数字は、エリアや年代で偏りがない結果となっている)

90種類のキャラクターの数については以下の通り（キャラクターの画像提示はなし）

ご当地キャラクター	18キャラ
企業キャラクター	12キャラ
日本のキャラクター	9キャラ
海外のキャラクター	21キャラ
マンガ・アニメキャラクター	21キャラ
ゲームキャラクター	9キャラ
合計	90キャラ

調査結果 サマリー

ご当地キャラクター18種の中では、「くまモン」が認知率、好感率ともに1位で、「ふなっしー」は2位となった。

今回提示した90種全キャラクター内でみても、「くまモン」の好感率は1位と人気が高いが、「ふなっしー」は2016年2位が、2017年は5位にダウンした。

■認知率は、「くまモン」が91%、「ふなっしー」が89%と高い。好感率は、「くまモン」が36%で最も高く、「ふなっしー」は27%と9ポイントの差が開いた。

■18種類のご当地キャラクターの中では、「くまモン」が認知率、好感率ともにトップ。「ふなっしー」は、認知率は僅差で、好感率は9ポイント差で、第2位。

■90種類のキャラクターの中でみると、「くまモン」の認知率は9位だが、好感率では2016年と同じく1位。

■「ふなっしー」は、90種類のキャラクターの中では、認知率12位、好感率5位。2016年は好感率が2位だったが、2017年には5位にダウンした。

認知率

	認知率	ご当地キャラ 18内ランキング	全90キャラ内 ランキング	2016年 全96キャラ内 ランキング
くまモン	91%		9位	8位
ふなっしー	89%		12位	10位
せんとくん	64%		44位	41位
ひこにゃん	64%		4位	45位
ぐんまちゃん	38%		5位	68位
ちっちゃいおっさん	31%		6位	70位
メロン熊	29%		7位	72位

好感率

	好感率	ご当地キャラ 18内ランキング	全90キャラ内 ランキング	2016年 全96キャラ内 ランキング
くまモン	36%			
ふなっしー	27%		5位	
ひこにゃん	14%		23位	23位
ぐんまちゃん	7%		4位	52位
せんとくん	5%		5位	66位
ちっちゃいおっさん	4%		6位	67位
メロン熊	3%		7位	71位

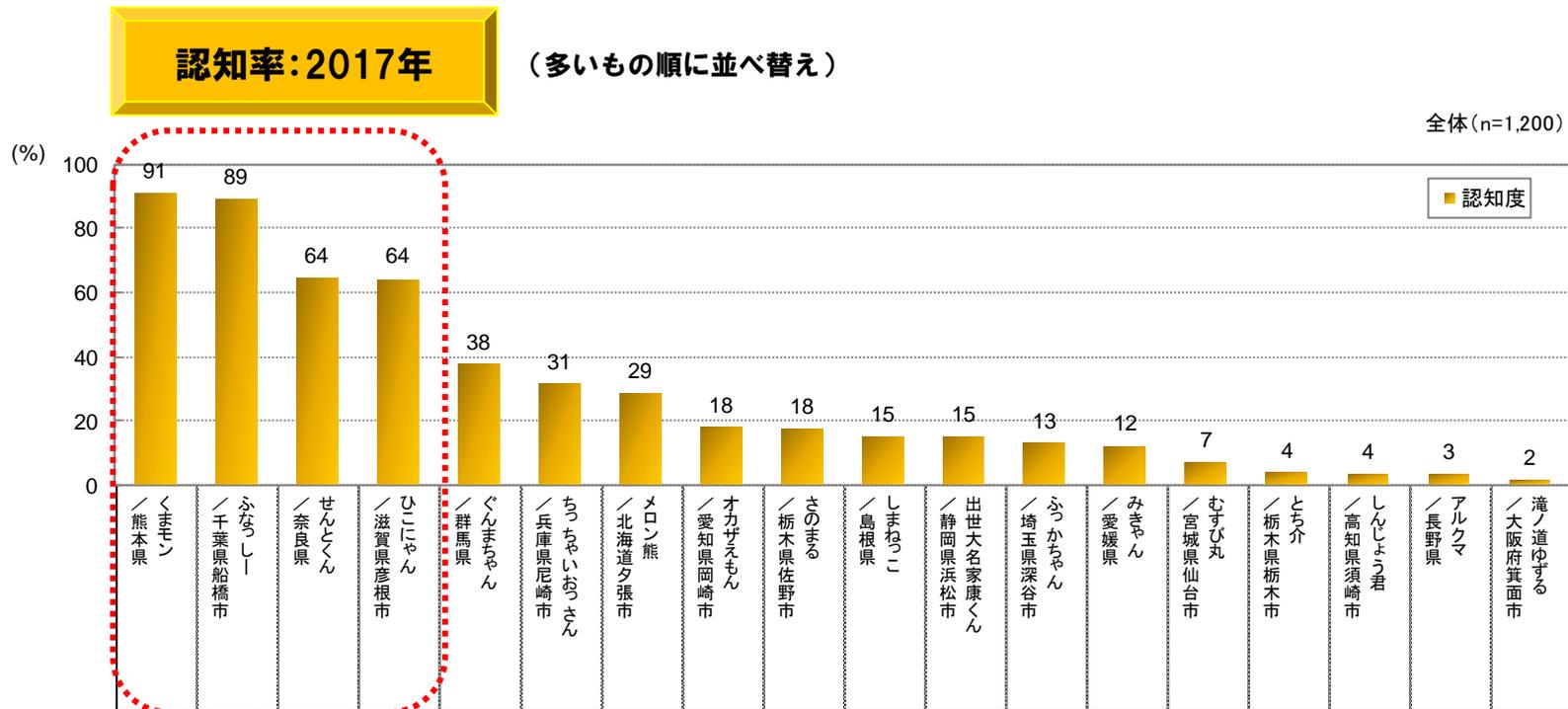
調査結果 詳細

ご当地キャラクターの中で、「くまモン」と「ふなっしー」は、認知率が9割前後と高い。

■以下の18種類のご当地キャラを提示して、「知っているか」を聞いた結果である。「くまモン」と「ふなっしー」の認知率が9割前後と高い。次に、「せんとくん」と「ひこにゃん」が64%で並んでいる。全体(全国)でみて認知率が5割を超えているのは、これら4キャラクターのみ。

■昨年の『ゆるキャラグランプリ2016』で優勝した「しんじょう君」は、認知率が4%と低かった。グランプリに優勝したものの、全国的な知名度の浸透はまだのようである。

問. 次の「ご当地キャラ」のうち、あなたをご存知のものはどれですか。知っているものをすべてお知らせください。(○はいくつでも)



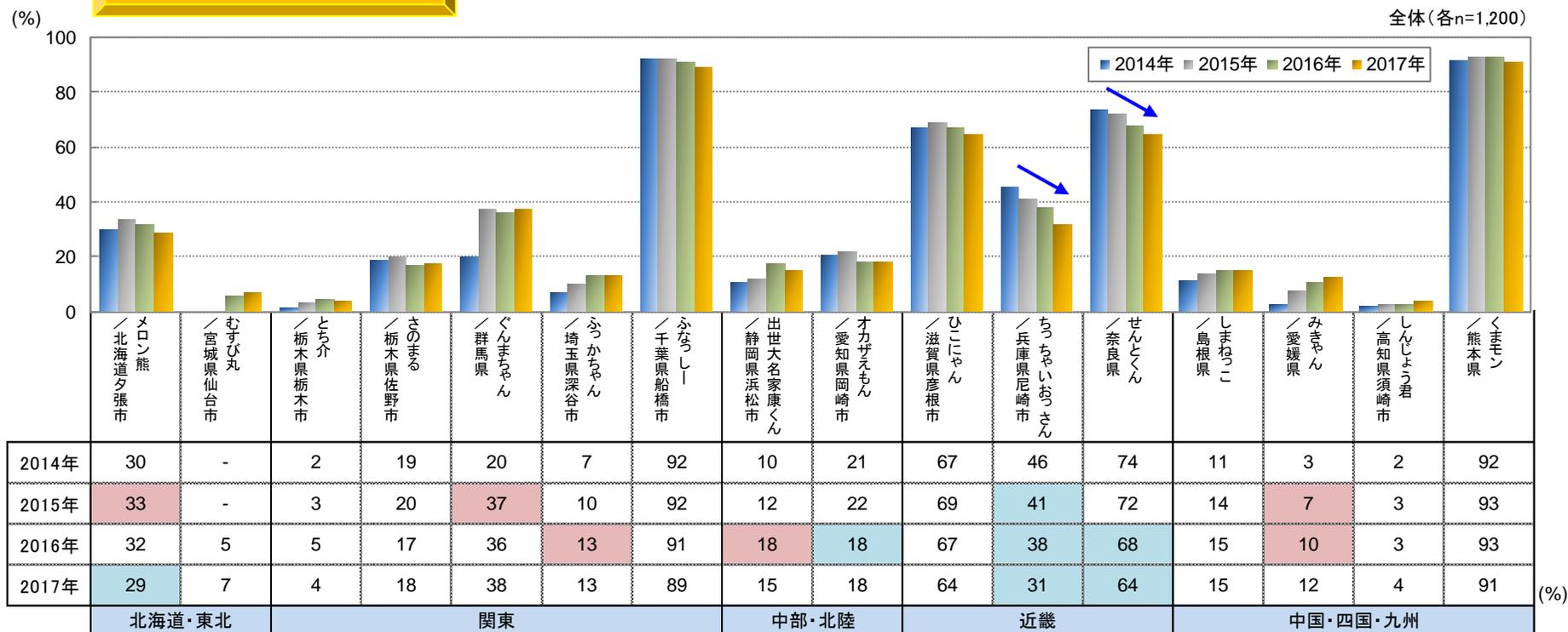
2014年からの時系列推移で見ると、「くまモン」と「ふなっしー」は、認知率が9割前後で安定している。「ちっちゃいおっさん」と「せんとくん」は減少傾向。

■2014年からの時系列で、認知率の推移をみてみた。「くまモン」と「ふなっしー」は、2014年から2017年まで、9割前後をキープしている。

■『ゆるキャラグランプリ』2014年優勝の「ぐんまちゃん」は2015年に、2015年1位～3位の「出世大名家康くん」「みきゃん」「ふっかちゃん」は、2015年または2016年に認知率が上昇している。

■2017年の動きでは、「メロン熊」が2016年より減少した。また、「ちっちゃいおっさん」「せんとくん」が年々減少傾向にある。

認知率:時系列

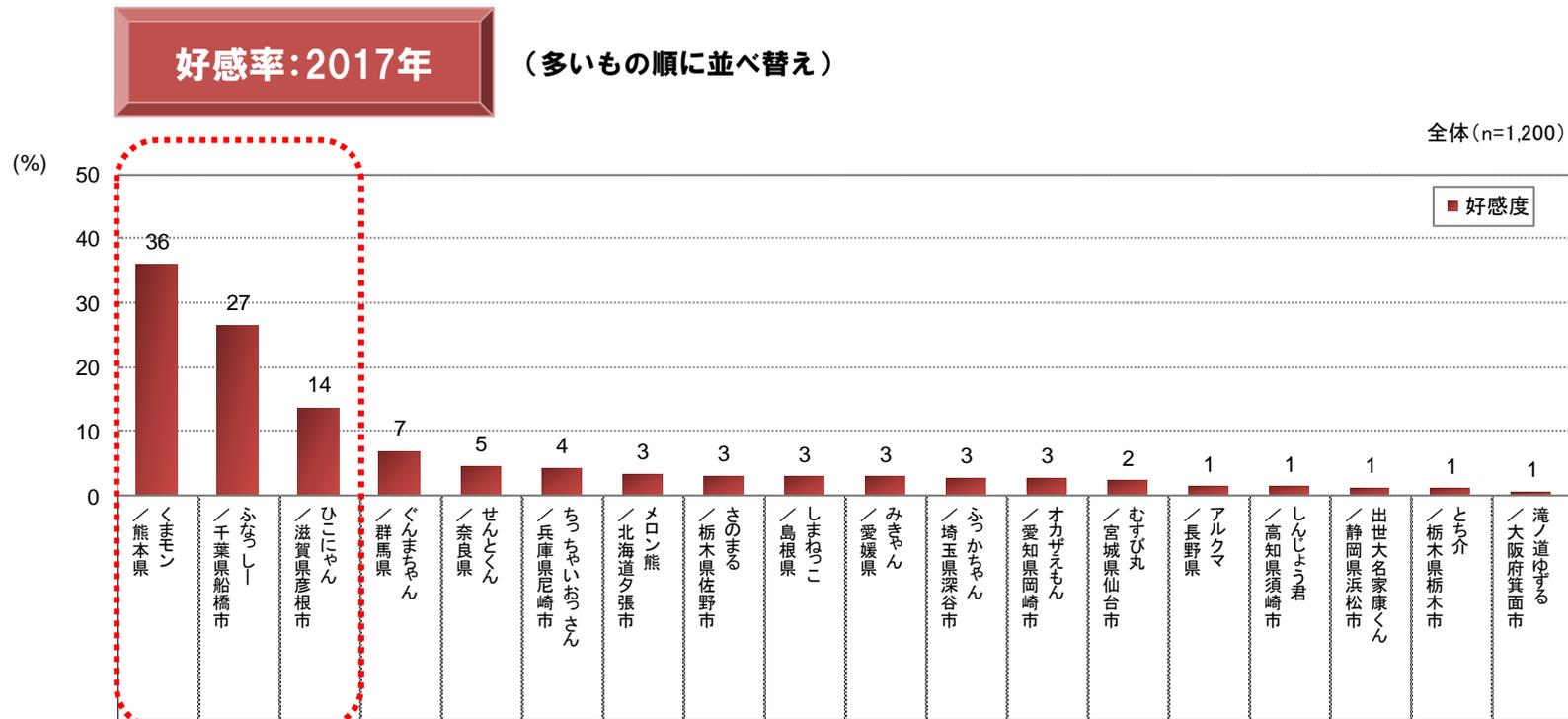


(注) は前年より3ポイント以上高い、 は3ポイント以上低い

「くまモン」は好感率が36%で最も高く、2位の「ふなっしー」(27%)とは9ポイントの差。

- ご当地キャラ18種の中で好きなキャラクターを聞いた結果は、「くまモン」が36%で最も高い。次いで、「ふなっしー」が27%、「ひこにゃん」が14%と続く。
- 1位の「くまモン」と2位の「ふなっしー」との差は9ポイントある。
- 『ゆるキャラグランプリ2016』で優勝した「しんじょう君」は、認知率が低いためか好感率も1%と低かった。

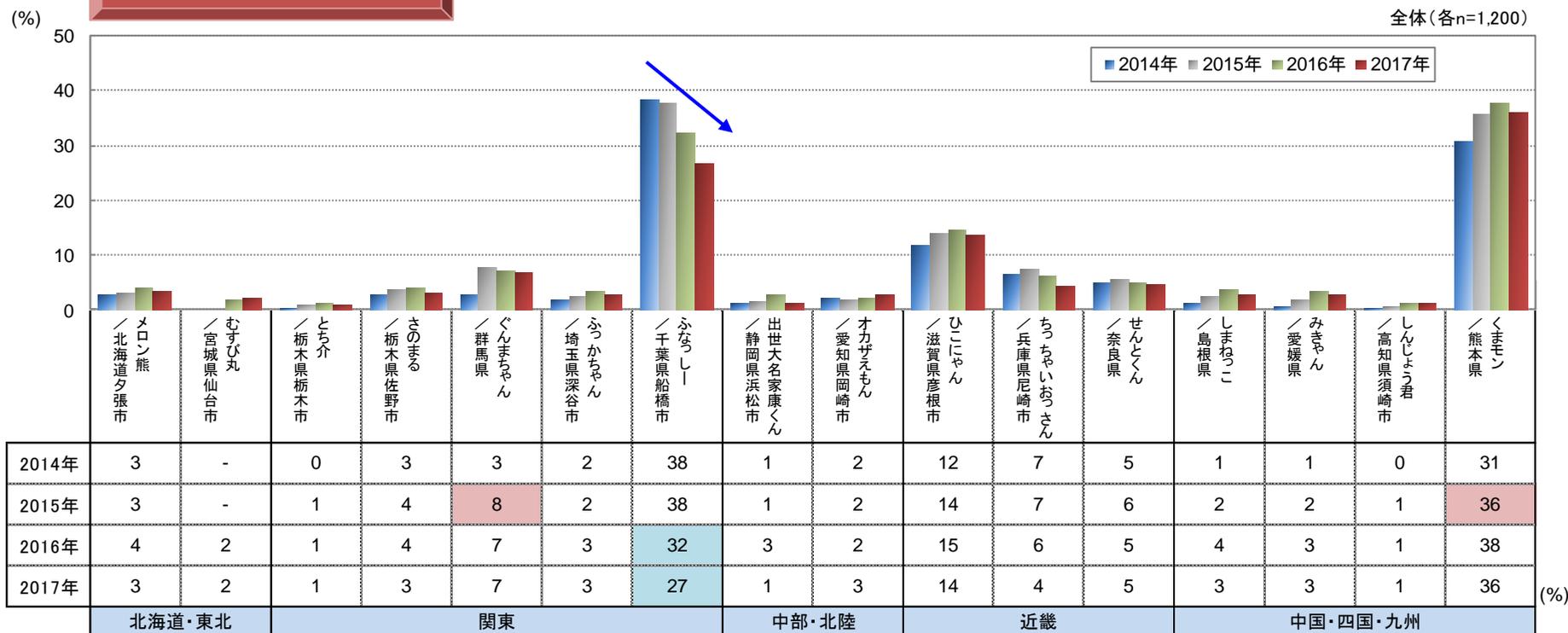
問. そのうち、あなたがお好きな「ご当地キャラ」はどれですか。(〇はいくつでも)



時系列推移をみると、「くまモン」は2015年から2017年は好感率が安定しているが、「ふなっしー」は減少傾向にある。「ふなっしー」は2015年までは好感率1位だったが、2016年から「くまモン」に抜かれ、2017年はその差が9ポイントと開いた。

- 時系列推移で好感率をみると、「くまモン」は2014年から2015年に増加し、それ以降は安定傾向。
- 「ふなっしー」は、2016年に好感率が下がったが、2017年はさらに減少。2014年から2017年では、10ポイント以上ダウンしている。
- 2014年は、「ふなっしー」(38%)が「くまモン」(31%)を上回っていたが、2015年には「くまモン」がアップして「ふなっしー」に近づいた。そして、2016年は「くまモン」が「ふなっしー」を逆転し、さらに2017年では、両者の差が9ポイントと拡大している。

好感率：時系列



(注) は前年より3ポイント以上高い、 は3ポイント以上低い

エリア別にみると、ご当地キャラの名前の通り、各エリアで当該キャラクターの認知率が高いが、「くまモン」と「ふなっしー」は別格。

■「くまモン」は、どのエリアも認知率が9割前後と高い。「ふなっしー」は、中国・四国・九州では約8割とやや低くなるものの、その他の地域では約9割と高い。この2キャラクターはご当地エリアにとどまらず、全国レベルで高い知名度を有している。

■「メロン熊」と「むすび丸」は、ご当地エリアである北海道・東北で、同様に、「さのまる」「ぐんまちゃん」「ふっかちゃん」は関東で、「出世大家康くん」「オカザえもん」は中部・北陸で、「ひこにゃん」「ちっちゃいおっさん」「せんとくん」は近畿で、「しまねっこ」「みきゃん」「しんじょうくん」は中国・四国・九州で、それぞれ認知率が高くなっている。ご当地キャラの名前の通り、地元エリアではよく知られていることがわかる。

認知率:2017年エリア別

	N	北海道・東北		関東							中部・北陸		近畿				中国・四国・九州			
		メロン熊 北海道夕張市	むすび丸 宮城県仙台市	とち介 栃木県栃木市	さのまる 栃木県佐野市	群馬県 ぐんまちゃん	埼玉県 深谷市	ふっかちゃん 埼玉県船橋市	ふなっしー 千葉県船橋市	アルクマ 長野県	出せ大家康くん 静岡県浜松市	オカザえもん 愛知県岡崎市	ひこにゃん 滋賀県彦根市	滝ノ道ゆする 大阪府箕面市	ちっちゃいおっさん 兵庫県尼崎市	せんとくん 奈良県	しまねっこ 島根県	みきゃん 愛媛県	しんじょうくん 高知県須崎市	くまモン 熊本県
全体	1,200	29	7	4	18	38	13	89	3	15	18	64	2	31	64	15	12	4	91	
地域別	北海道・東北	144	51	25	3	18	32	10	92	3	12	15	59	1	25	63	13	6	3	89
	関東	432	27	6	8	29	55	24	92	6	18	14	61	1	29	60	14	12	3	92
	中部・北陸	192	26	3	2	10	29	9	89	4	23	51	68	1	33	65	10	7	1	90
	近畿	192	23	3	0	8	23	3	88	1	10	6	83	6	47	82	11	9	2	91
	中国・四国・九州	240	25	5	2	11	28	7	82	1	9	12	56	1	26	59	27	23	9	90

(注) : 全体より5ポイント以上高い、 : 5ポイント以上低い

エリア別にみると、ご当地キャラの名前の通り、地元エリアで好感率が高いキャラクターが多い。

■「くまモン」は、どのエリアでも好感率が3割強～4割と安定しているが、ご当地を含む西エリアで40%と最も高くなる。「ふなっしー」は、ご当地の関東ではなく、北海道・東北(32%)で最も高い。

■「むすび丸」は北海道・東北で、「ぐんまちゃん」は関東で、「オカザえもん」は中部・北陸で、「ひこにゃん」「ちっちゃいおっさん」は近畿で、「しまねっこ」は中国・四国・九州で、それぞれ好感率が最も高い。これらのキャラクターは、ご当地キャラとして各地域で親しまれていることがうかがえる。

好感率：2017年エリア別

	N	北海道・東北		関東						中部・北陸		近畿				中国・四国・九州				
		メロン熊 北海道夕張市	むすび丸 宮城県仙台市	とろ介 栃木県栃木市	さのまる 栃木県佐野市	ぐんまちゃん 群馬県	ふつかちゃん 埼玉県深谷市	ふなっしー 千葉県船橋市	アルクマ 長野県	出世大名家康くん 静岡県浜松市	オカザえもん 愛知県岡崎市	ひこにゃん 滋賀県彦根市	滝ノ道ゆずる 大阪府箕面市	ちっちゃいおっさん 兵庫県尼崎市	せんとくん 奈良県	しまねっこ 島根県	みきちゃん 愛媛県	しんじょう君 高知県須崎市	くまモン 熊本県	
全体	1,200	3	2	1	3	7	3	27	1	1	3	14	1	4	5	3	3	1	36	
地域別	北海道・東北	144	6	9	1	3	3	2	32	0	0	2	11	0	4	8	2	1	1	33
	関東	432	3	1	2	6	13	5	28	2	0	1	10	0	3	4	1	4	1	35
	中部・北陸	192	1	1	1	1	3	2	25	2	5	9	18	1	3	4	1	1	1	32
	近畿	192	4	1	0	1	4	1	26	0	0	1	26	2	9	9	1	3	1	40
	中国・四国・九州	240	2	2	0	0	3	1	22	1	1	2	9	1	3	1	9	4	3	40

(注) : 全体より5ポイント以上高い、 : 5ポイント以上低い

(%)

「くまモン」と「ふなっしー」はいずれの層でも認知率が高く、男女、年代に関わらず、広く知られている。

■「くまモン」と「ふなっしー」は、70代男性の認知率が8割未満とやや低い、それ以外の層では8割以上の人に知られている。

■「せんとかん」「ひこにゃん」「ぐんまちゃん」「ちっちゃいおっさん」「メロン熊」「さのまる」「しまねっこ」は、40～50代以下の女性で認知率が高い。

■女性に比べて男性の認知率が総じて低い傾向があるが、特に、60～70代男性で低い。

認知率:2017年性×年代別

(多いもの順に並べ替え)

	N	くまモン ／熊本県	ふなっしー ／千葉県船橋市	せんとかん ／奈良県	ひこにゃん ／滋賀県彦根市	ぐんまちゃん ／群馬県	ちっちゃいおっさん ／兵庫県尼崎市	メロン熊 ／北海道夕張市	オカザえもん ／愛知県岡崎市	さのまる ／栃木県佐野市	しまねっこ ／島根県	出世大名家康くん ／静岡県浜松市	ふっかちゃん ／埼玉県深谷市	みきやん ／愛媛県	むすび丸 ／宮城県仙台市	とち介 ／栃木県栃木市	しんしょう君 ／高知県須崎市	アルクマ ／長野県	滝ノ道ゆずる ／大阪府箕面市	
全 体	1,200	91	89	64	64	38	31	29	18	18	15	15	13	12	7	4	4	3	2	
男 性	15～29才	112	86	85	59	50	29	33	34	21	18	18	15	14	11	6	5	4	4	3
	30代	97	93	93	69	74	41	38	34	23	16	14	14	11	8	9	5	7	2	2
	40代	109	88	89	67	67	43	33	28	21	18	16	10	16	14	5	5	6	4	0
	50代	92	93	91	57	61	34	34	21	15	13	11	15	9	11	9	5	4	3	5
	60代	106	92	83	52	61	30	13	17	11	8	5	12	9	8	6	3	1	1	1
	70代	80	74	66	33	40	11	4	5	8	0	4	6	6	6	8	3	4	0	0
女 性	15～29才	108	93	94	78	69	56	47	47	26	27	24	19	19	23	8	2	4	4	1
	30代	97	96	96	81	73	44	48	45	24	21	21	15	13	5	3	5	3	6	2
	40代	105	97	93	70	74	54	53	36	22	33	22	23	25	25	8	6	3	4	5
	50代	91	93	92	77	77	44	35	31	18	26	22	21	14	18	9	1	1	3	0
	60代	113	93	93	68	69	37	23	22	16	14	17	17	13	11	7	3	4	6	1
	70代	90	89	87	56	52	17	8	17	8	11	6	11	3	4	9	4	1	1	0

(注) : 全体より5ポイント以上高い、 : 5ポイント以上低い

「くまモン」は、60代男性、50～60代女性に、「ふなっしー」は30～50代女性で好感率が高い。

- 「くまモン」の好感率は、全体では36%だが、60代男性、50～60代女性では、45～47%と高くなっている。
- 「ふなっしー」は、全体では27%だが、30～50代女性では33～40%と高い。

好感率：2017年性×年代別

(多いもの順に並べ替え)

		N	くまモン 熊本県	ふなっしー 千葉県船橋市	ひこやん 滋賀県彦根市	ぐんまちゃん 群馬県	せんどん 奈良県	ちんちんおこさん 兵庫県尼崎市	メロ熊 北海道夕張市	さのまる 栃木県佐野市	しまねこ 島根県	みぎやん 愛媛県	ふつかちゃん 埼玉県深谷市	オカザえもん 愛知県岡崎市	むすび丸 宮城県仙台市	アルクマ 長野県	しんしょう君 高知県須崎市	出世大名家康くん 静岡県浜松市	とち介 栃木県栃木市	滝ノ道ゆずる 大阪府箕面市	
全	体	1,200	36	27	14	7	5	4	3	3	3	3	3	3	2	1	1	1	1	1	
男	性	15～29才	112	19	22	8	5	3	7	6	4	3	1	3	2	3	3	2	1	1	2
	30代	97	31	24	14	7	7	4	7	2	4	2	3	3	2	0	1	2	1	0	
	40代	109	27	24	15	5	3	3	3	3	3	6	2	3	4	0	3	1	2	0	
	50代	92	36	27	14	3	3	3	1	3	3	2	0	3	2	2	3	2	3	2	
	60代	106	47	25	18	7	4	2	1	1	1	2	2	3	3	0	1	1	1	0	
	70代	80	25	14	8	3	4	0	0	0	1	1	0	1	3	0	1	1	0	0	
女	性	15～29才	108	36	29	10	11	6	11	4	6	6	5	6	3	2	1	0	1	1	
	30代	97	43	34	18	9	6	8	7	5	4	3	6	1	0	3	1	1	1	0	
	40代	105	36	40	14	11	3	9	5	4	3	5	6	4	0	3	0	2	1	2	
	50代	91	45	33	16	9	8	1	1	3	4	3	2	4	3	0	1	0	0	0	
	60代	113	47	21	19	8	5	1	2	2	3	3	3	1	1	2	1	1	0	0	
	70代	90	40	23	9	3	3	0	1	3	0	0	0	1	3	0	0	2	1	0	

(注) : 全体より5ポイント以上高い、 : 5ポイント以上低い

(%)

調査方法

- NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ)
- 調査員による個別訪問留置調査

調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人 1,200人
※エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割付をおこなった

抽出方法

- 毎月200地点を抽出、住宅地図データベースから世帯を抽出し個人を割当て

調査期間

- 2017年10月調査 2017/10/4 ~ 2017/10/16 (過去調査は2014年～2016年いずれも10月に実施)

分析サンプル数

【性別】

男性	596
女性	604

【エリア別】

北海道・東北	144
関東	432
中部・北陸	192
近畿	192
中国・四国・九州	240

【年代別】

男性15～29才	112
30～39才	97
40～49才	109
50～59才	92
60～69才	106
70～79才	80
女性15～29才	108
30～39才	97
40～49才	105
50～59才	91
60～69才	113
70～79才	90

(人)

NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ)について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは、40年以上にわたって、

- ①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、代表性のある信頼の高いデータを提供しております。

NOSは、毎月1回定期的に実施する乗り合い形式(オムニバス)の調査です。

毎回ランダムに決められた200地点にて、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します。

性年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では、回収が難しい60代以上の対象者やインターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのに有用な手法と言えます。

《 引用・転載時のお願い 》

本レポートの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先: 日本リサーチセンター広報室 メール: information@nrc.co.jp

掲載では必ず当社クレジットを明記していただき、
調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。